

2019年10月期  
第3四半期決算説明資料

---

---

トビラシシステムズ株式会社  
(東証マザーズ 4441)



2019年9月13日



# 事業概要

# 企業理念

## 私たちの生活 私たちの世界を よりよい未来につなぐ トビラになる

私たちは素晴らしい未来を想像し、失敗を恐れず変化を続け、常識を疑いあるべき形を追求します。  
社会的課題を解決する、人々の役に立つ製品を次々に生み出し、持続的かつ発展的に成長するため適切な利益を得ます。  
自分と大切な人が幸せな時間を送れる環境であり続けることが、私たちの成長や世界中の人々の生活の向上につながっていきます。

安心して暮らせる世界を実現するために人を守るセキュリティで社会課題の解決に挑みます。

迷惑情報フィルタ事業

その他

1

## モバイル向けフィルタサービス

トビラフォンモバイル、迷惑電話ブロック 等



2

## 固定電話向けフィルタサービス

ホームゲートウェイ、迷惑電話フィルタ「トビラフォン」



3

## ビジネスフォン向けフィルタサービス

迷惑電話フィルタ「トビラフォン Biz」



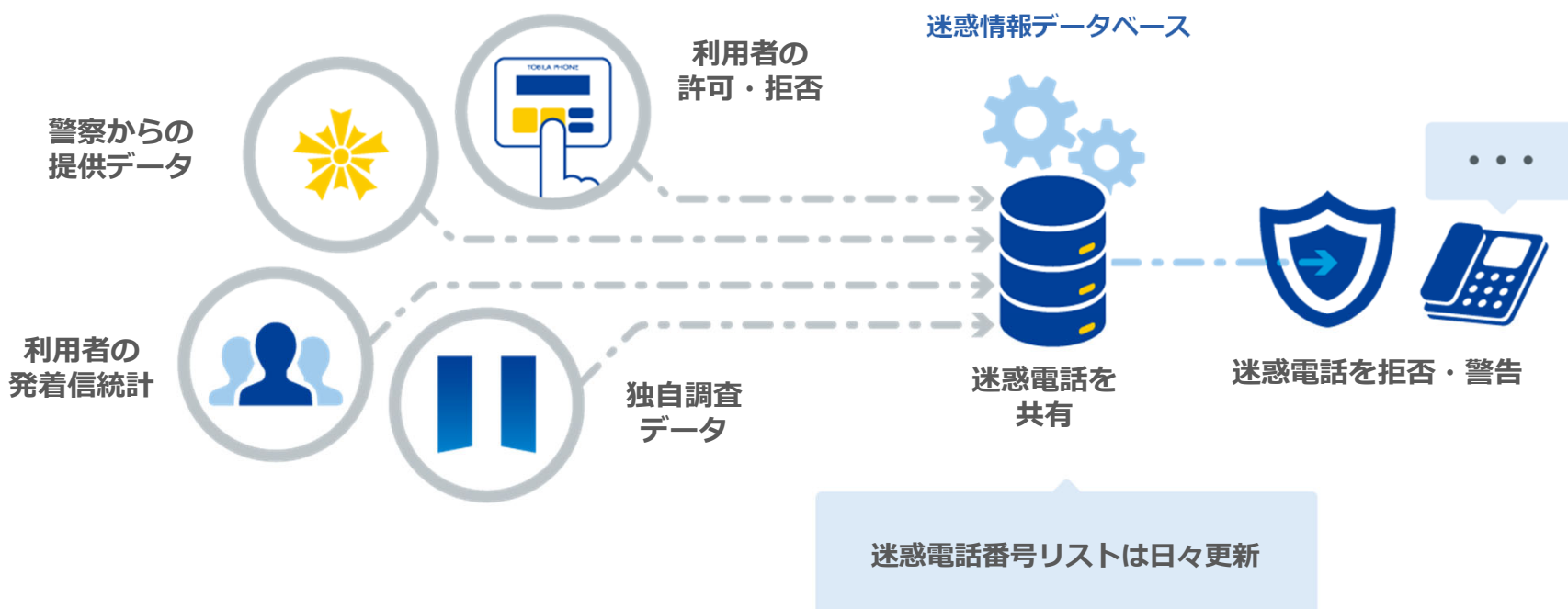
4

## その他

ホームページ制作運営支援システム「HP4U」の販売、受託開発

## 迷惑情報フィルタ事業の概要

- 警察組織からの提供データや利用者からのフィードバック情報、独自の調査活動により、約7億件もの膨大な電話番号データを収集・分析
- 独自の迷惑電話番号抽出技術を用いて、データベース化し、迷惑電話を自動的に拒否・警告
- モバイル向け、固定電話向け、ビジネスフォン向けに迷惑情報フィルタを提供



# モバイル向けフィルタサービス

大手通信キャリア（NTTドコモ、KDDI（au）、ソフトバンク）等のオプションパックにアプリ形式で迷惑電話フィルタを提供

- 迷惑電話をブロックする機能に加え、ハローページの情報に基づき公共施設や企業の名称を自動で表示する機能も付加
- 一部の通信キャリア（KDDI（au）、ソフトバンク）に対してはメール、SMSの迷惑フィルタも提供

## 提供キャリア/アプリ名（一例）

SoftBank



SoftBank  
SoftBank  
迷惑電話ブロック

KDDI (au)



au  
迷惑メッセージ・電話ブロック

docomo



docomo  
あんしんナンバーチェック

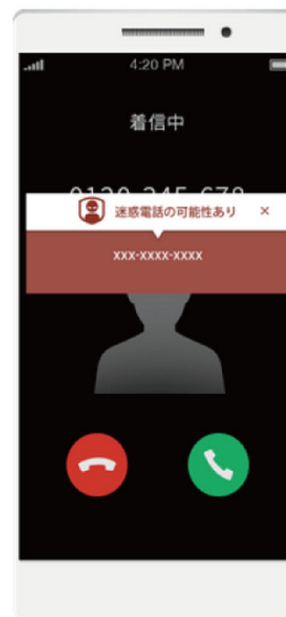


docomo  
あんしんセキュリティ

## 着信時画面（迷惑電話着信時）



iPhone版



Android版

## 発信者情報自動表示機能



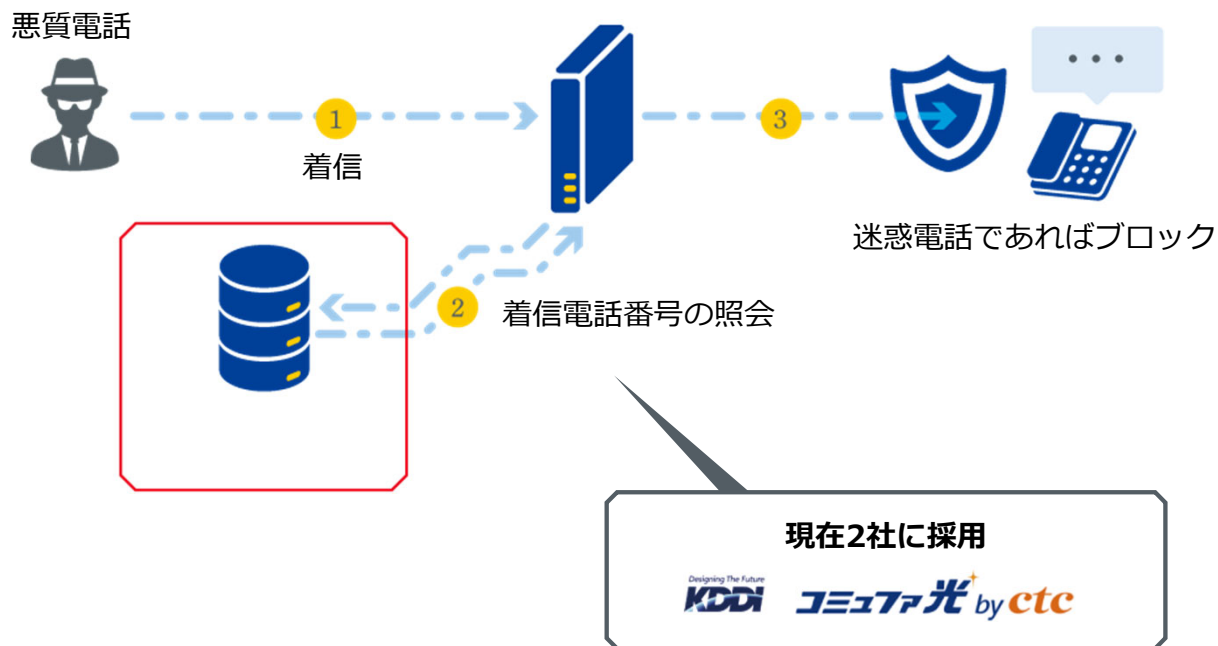
# 固定電話向けフィルタサービス

主に回線契約のオプションパックとして、ホームゲートウェイ内蔵型サービスとして展開

- 通信事業者が提供するホームゲートウェイに迷惑情報フィルタシステムが内蔵
- 利用者は、固定電話（IP電話）契約の基本オプションパックを契約することで、迷惑情報フィルタが利用でき、迷惑電話のブロックが可能
- 従来からの固定電話回線に端末をアタッチメントすることで使用するタイプも保有

## ホームゲートウェイによる迷惑情報フィルタの仕組み

KDDI系列2社のホームゲートウェイにて提供



## 固定電話アタッチメント型端末

表示カラーの変化で着信電話番号の安全度を警告

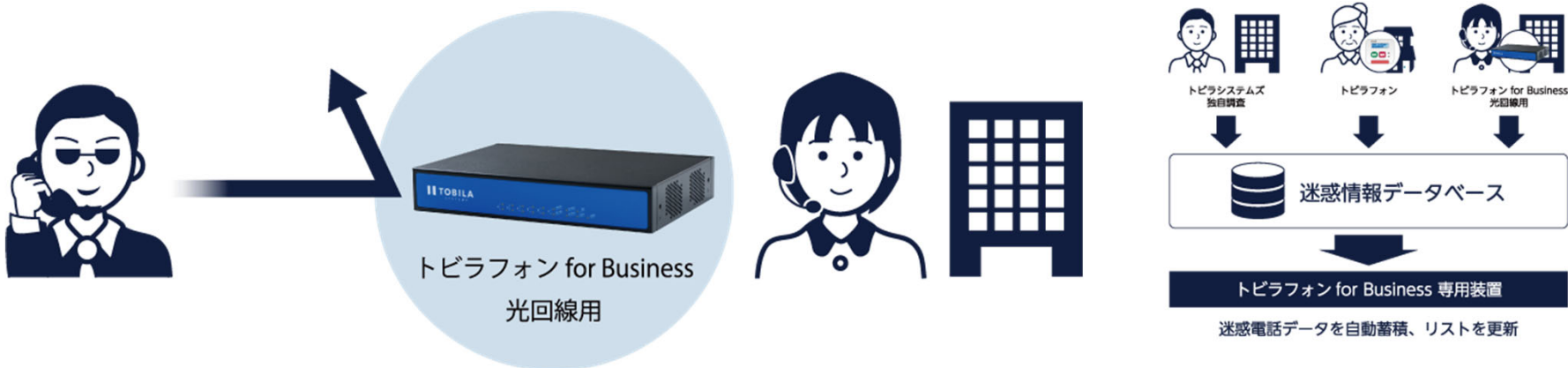


※ 固定電話（IP電話）の利用には、インターネット回線と電話をつなぐホームゲートウェイが必要

# ビジネスフォン向けフィルタサービス

## 迷惑電話フィルタ「トビラフォン Biz」を販売パートナーを通じて展開

- 企業が独自に迷惑電話の着信拒否リストを作る手間なく、自動で着信拒否
- セールス電話対応時間を削減できるため、営業効率の向上に貢献
- 通話録音機能を有しており、企業のコンプライアンス強化や受発注ミスの低減にも効果を発揮



### わかりやすい管理画面

非通知も拒否設定できる

No.	状態	相手先	自局
1	有効	非通知	すべて
2	有効	迷惑電話番号	すべて

非通知からの着信も拒否設定ができます。

着信拒否・許可番号の登録件数は10,000件

<input type="checkbox"/>	電話番号
<input checked="" type="checkbox"/>	迷惑電話
<input type="checkbox"/>	電話番号
<input checked="" type="checkbox"/>	迷惑電話
<input type="checkbox"/>	電話番号
<input checked="" type="checkbox"/>	迷惑電話
<input type="checkbox"/>	電話番号
<input checked="" type="checkbox"/>	迷惑電話
<input type="checkbox"/>	電話番号

着信拒否登録件数および着信許可登録件数は10,000件です。過去に登録した迷惑電話番号を解除しなければならぬという手間や不安から解消されます。

録音ファイルの検索が可能

検索条件	
種別	アクション
-	-
相手先電話番号	着信電話番号

機器のweb管理画面より、ブラウザで録音ファイルの検索が可能。録音ファイルは着発信の日時、発信、着信毎に別のファイルに保存されます。

ブラウザ上で再生可能



ブラウザ上で再生可能なため、新たな再生ソフトの導入が不要です。ユーザーはPCのブラウザで管理画面上から名称や電話番号、時間帯で検索して録音データの再生ができます。





# インベストメントハイライト 競争優位性

インベストメントハイライト (競争優位性)

## 大手通信キャリア全社に認められたフィルタリング性能

- 大手通信キャリア3社のオプションパックに迷惑情報フィルタが採用
- オプションパックへ採用されるためには、製品品質や利用者にとっての有用性等、一定のハードルがあり迷惑電話対策製品では当社の製品が採用

### 採用されている大手通信キャリアのオプションパック

#### SoftBank

- ・ iPhone基本パック (月額500円)
- ・ スマートフォン基本パック (月額500円)

#### KDDI (au)

- ・ auスマートパス (月額372円)
- ・ auスマートパスプレミアム (月額499円)

#### docomo

- ・ あんしんパック (月額970円/720円)
- ・ あんしんパックプラス (月額1,420円/1,170円)
- ・ あんしんセキュリティ (月額350円/200円)

(参考) NTTドコモ「あんしんセキュリティ」の紹介ページ

#### 迷惑メール対策

迷惑メール  
おまかせブロック

#### 当社 データベース活用

#### 迷惑電話対策

あんしん  
ナンバーチェック

#### ウイルス対策

ドコモあんしんスキャン  
(セキュリティスキャン)

データ保管BOX  
(ウイルススキャン)

#### 危険サイト対策

ドコモあんしんスキャン  
(セーフブラウジング)

#### アプリの個人データ確認

ドコモあんしんスキャン  
(プライバシーチェック)

#### 危険Wi-Fi対策

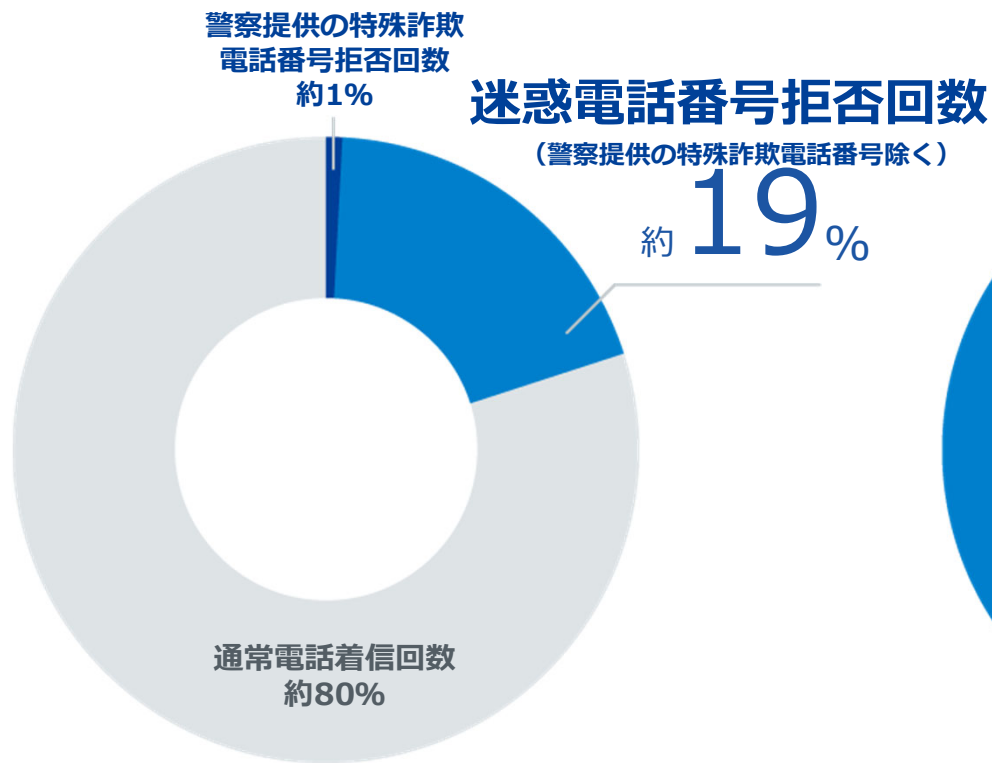
ドコモあんしんスキャン  
(セーフWi-Fi)



※NTTドコモはiPhone/iPadとAndroidで料金が異なります。  
※各社ホームページの情報をもとに記載しております。  
※金額は全て税別表記となっております。

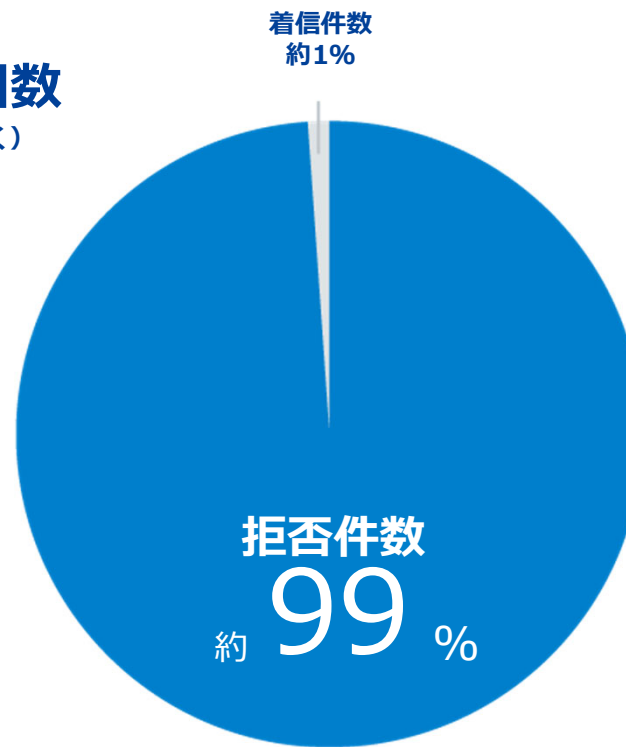
# 迷惑情報フィルタ「トビラフォン」のフィルタリング実績

総着信回数に占める迷惑電話等の割合



5件に1件は  
迷惑電話着信

迷惑電話等の検出率の状況



検出率は99%をマーク

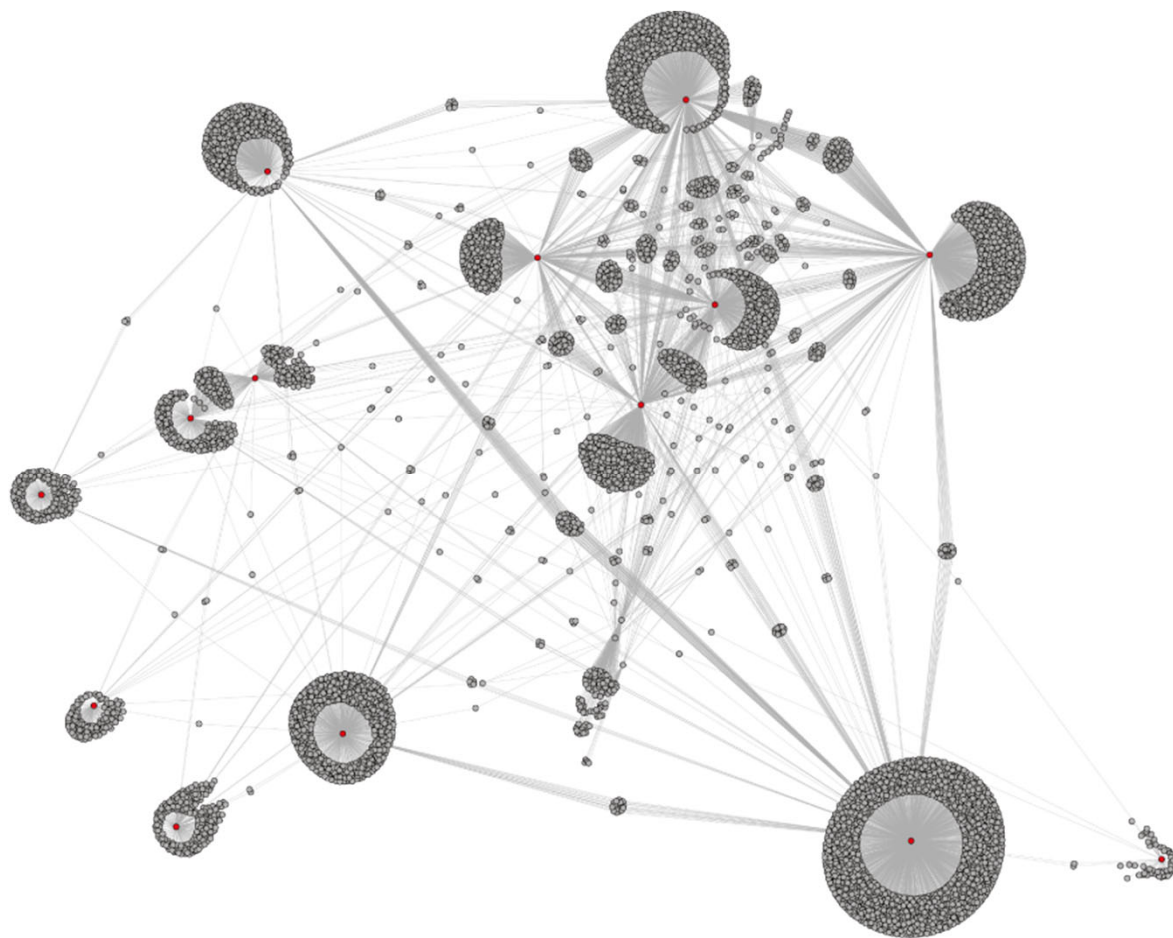
- \* 1 当社調べ
- \* 2 2018年における、固定電話向けフィルタのみのデータを記載
- \* 3 迷惑電話番号とは、当社の迷惑電話データベース内に蓄積されている電話番号のことを言い、具体的には警察提供の特殊詐欺に使用された電話番号、利用者の拒否登録番号、当社独自の調査により迷惑電話と判定した番号のことを指します。
- \* 4 検出率とは、利用者が着信した電話番号のうち、本来、当社の迷惑電話リストでフィルタすべき電話番号がどの程度含まれていたかの件数割合を測る指標です。

インベストメントハイライト (競争優位性)

## 独自のアルゴリズムを用いたデータベースの構築

### 電話番号情報を7億件以上収集・分析

### 統計や機械学習を用いたアルゴリズムで電話番号データベースを生成



#### データベース構築プロセス

Process.1

大量の電話番号データを収集・分析

Process.2

独自のアルゴリズムで迷惑度合いの点数化

Process.3

迷惑電話の可能性のある対象を抽出

#### 研究開発に継続的に注力

- ・積極的なR&Dと知財戦略により、トビラフォンに関する13件の特許を出願
- ・うち、特許取得済み11件

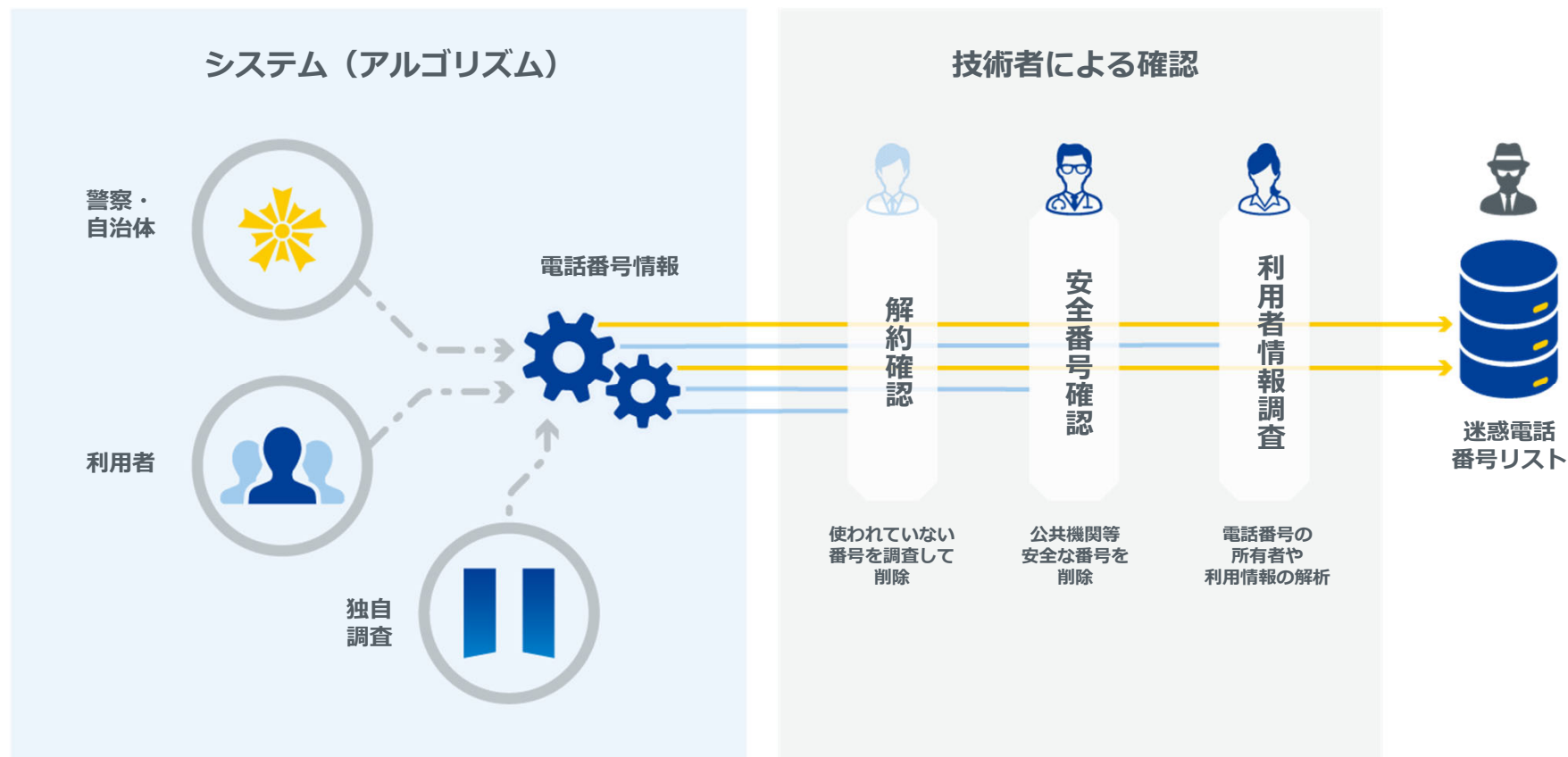
※ 2019年7月31日時点

インベストメントハイライト（競争優位性）

高品質な電話番号データベースによる高い参入障壁

## データベースの高品質化に向けた取り組み

アルゴリズムによる情報抽出に加え、人が最終判断することでデータベース品質を高め、誤検知の発生を抑制



インベストメントハイライト（競争優位性）

全国の警察組織とのアライアンスによる高い参入障壁

## 全国各地の警察組織と実証実験を実施した結果、 迷惑情報フィルタの有効性が評価され、警察組織からの信頼を獲得



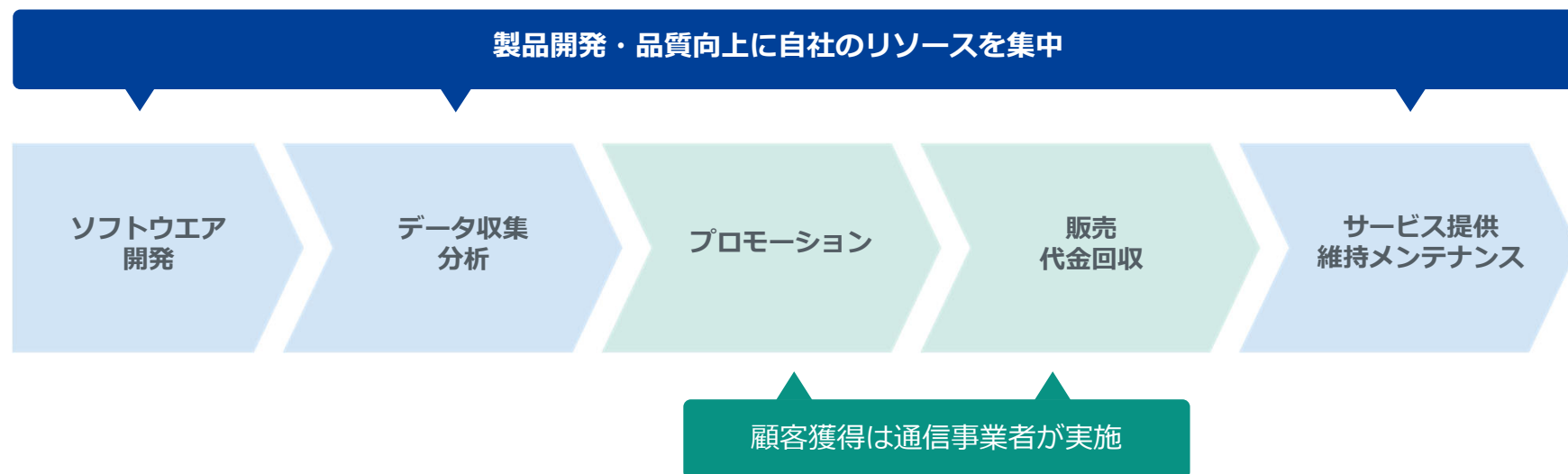
- 2012年1月より、愛知県警察と特殊詐欺電話の実証実験を開始。その後全国各地の警察組織と実証実験を実施
- 2015年3月には警察庁と特殊詐欺に関する覚書を締結し、全国各地の迷惑電話情報を取得できる体制を整備



インベストメントハイライト（競争優位性）

## 顧客獲得コストの低い収益モデル

- 当社の迷惑情報フィルタは通信事業者のオプションパックに含まれているため、新規利用者の獲得にかかるプロモーション、顧客獲得及び利用料金回収等の一連の営業行為は通信事業者が実施
- そのため、自社で顧客獲得を行う必要がある企業と比べて、製品開発・品質向上にリソースを集中させることができ、高い収益性を実現



通信契約のオプション契約として主に携帯ショップ等の店頭で提案





## 2019年10月期 第3四半期業績



全体

通期業績予想に対して、順調な進捗状況

売上

76.1%

営業利益

83.9%

当期純利益

89.8%

売上

- **KDDI「迷惑メッセージ・電話ブロック」の提供開始**  
2019年6月から、KDDI名義のアプリとして迷惑メールフィルタ機能も搭載
- **迷惑情報フィルタ月間利用者数300万人突破**  
直近1年間で、157万人から323万人へ倍増

原価  
販管費

- **2020年2月に本社移転が決定→減価償却費等の増加**  
本社移転の決定を受けて、減価償却費や資産除去債務が増加。  
単月で1,186千円の費用増加。
- **上場維持コストとして2Qよりも販管費増加**  
上場維持のコストとして、未上場時より単月で700千円程度の費用増加。

2019年6月修正の業績予想に対して、売上、利益ともに順調に進捗

単位 (千円)	2019/10期 修正業績予想	2019/10期 3Q累計	進捗率
売上	950,000	722,769	76.1%
営業利益	380,000	318,775	83.9%
経常利益	367,000	305,288	83.2%
当期純利益	232,000	208,392	89.8%

2Qに対して売上・利益ともに減少。ただし、計画値は上回って推移

2Qに一時的な売上要因があった反動で減少も、ストック収益は堅調に推移

単位（千円）

	2019/10期 1Q会計	2019/10期 2Q会計	2019/10期 3Q会計	QoQ (対前四半期)	達成率
売上	214,831	276,122	231,816	16.0% 減	102.9%
営業利益	103,037	128,088	87,648	31.6% 減	124.9%
経常利益	102,930	116,430	85,926	26.2% 減	124.5%
四半期 純利益	67,050	83,535	57,806	30.8% 減	121.9%

※達成率・・・四半期会計期間における当社計画予算に対する達成率

迷惑情報フィルタ事業、その他事業ともに、計画値に対して堅調に推移

セグメント別売上

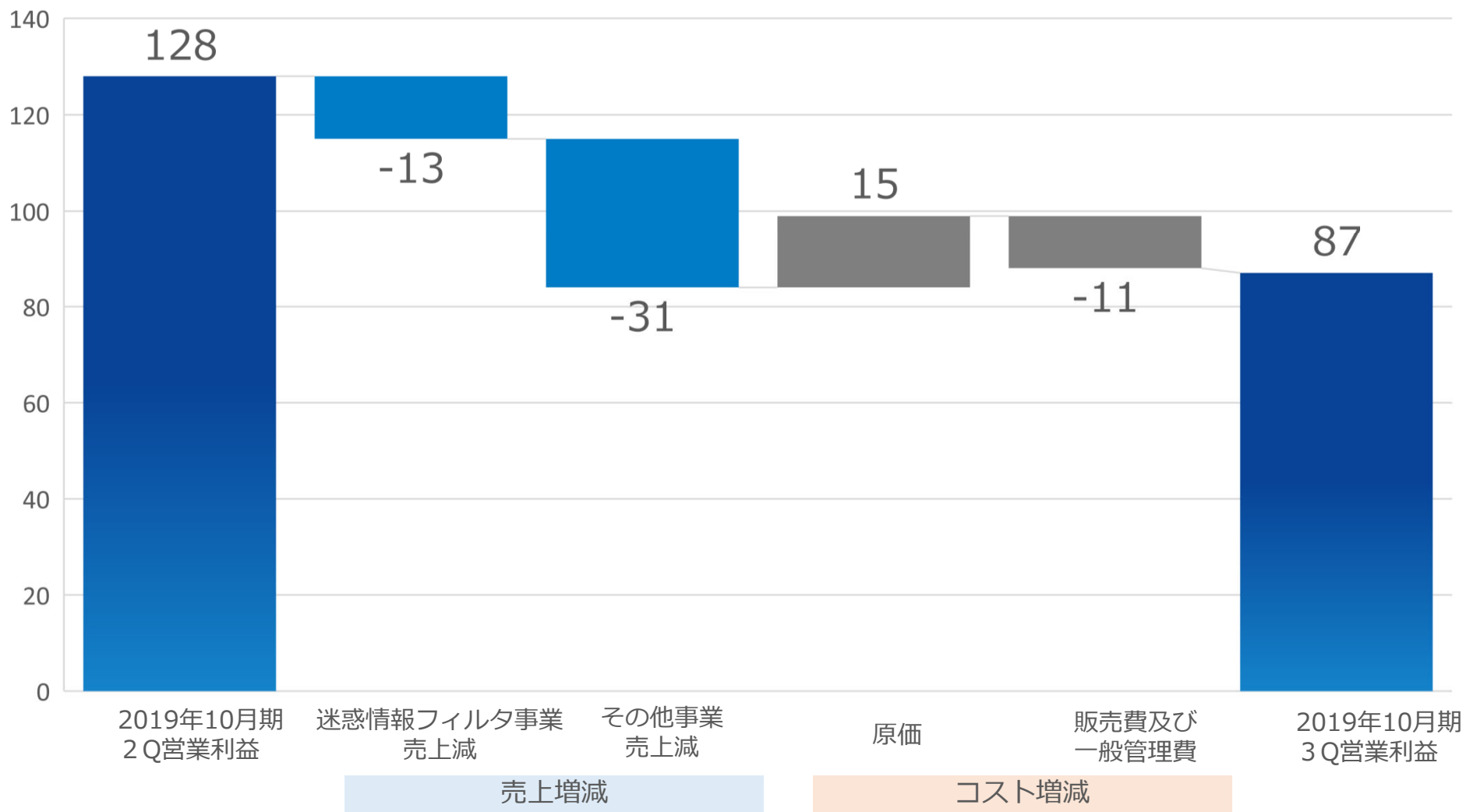
単位 (千円)	2019/10期 1Q会計	2019/10期 2Q会計	2019/10期 3Q会計	QoQ (対前四半期)	達成率
迷惑情報 フィルタ 事業	193,836	223,295	<b>210,262</b>	<b>5.8% 減</b>	<b>102.8%</b>
その他 事業	20,994	52,826	<b>21,553</b>	<b>59.2% 減</b>	<b>104.3%</b>

- 迷惑情報フィルタ事業において、2QにはY!mobile開始に伴う一時的な売上が計上されたが、3Qはオーガニックなストック収益の伸張のみ。
- その他事業は、2Qにおいて受託事業の一時的な売上が計上されたが、積極的には展開していないことから1Q並みの売上に。今後も積極的には展開しない予定。

営業利益の増減分析（対前四半期）

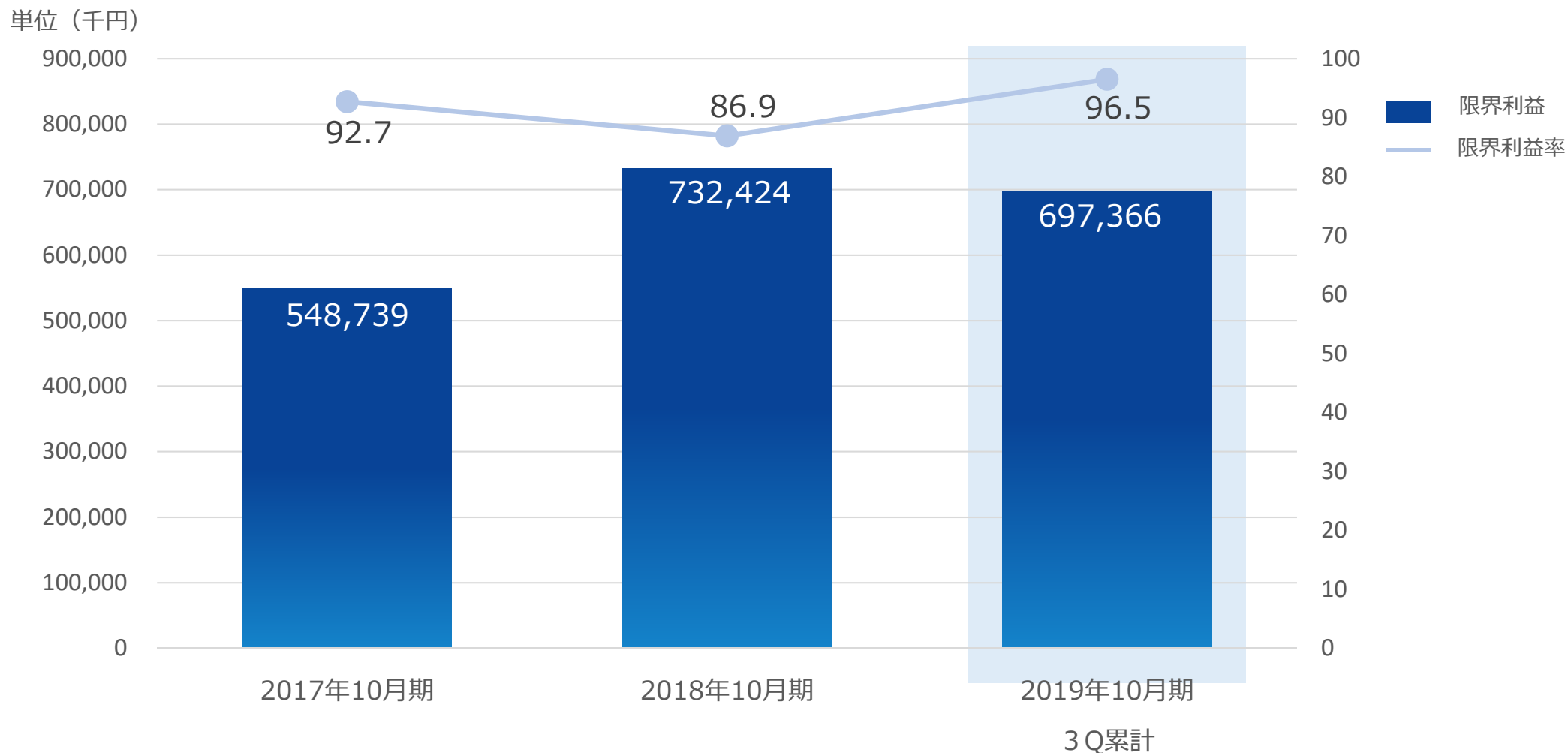
2Qでは一時的な売上計上が多かったことから、3Qでは営業利益が減少。業績計画通りの進捗であり、通期計画に対する成長減速とは異なる。

単位（百万円）



## 限界利益率の推移

利益率の高い迷惑情報フィルタ事業が堅調に推移しており、  
限界利益率は高利益率を維持



※限界利益率の定義・・・広告費及び材料費等を変動費として算出

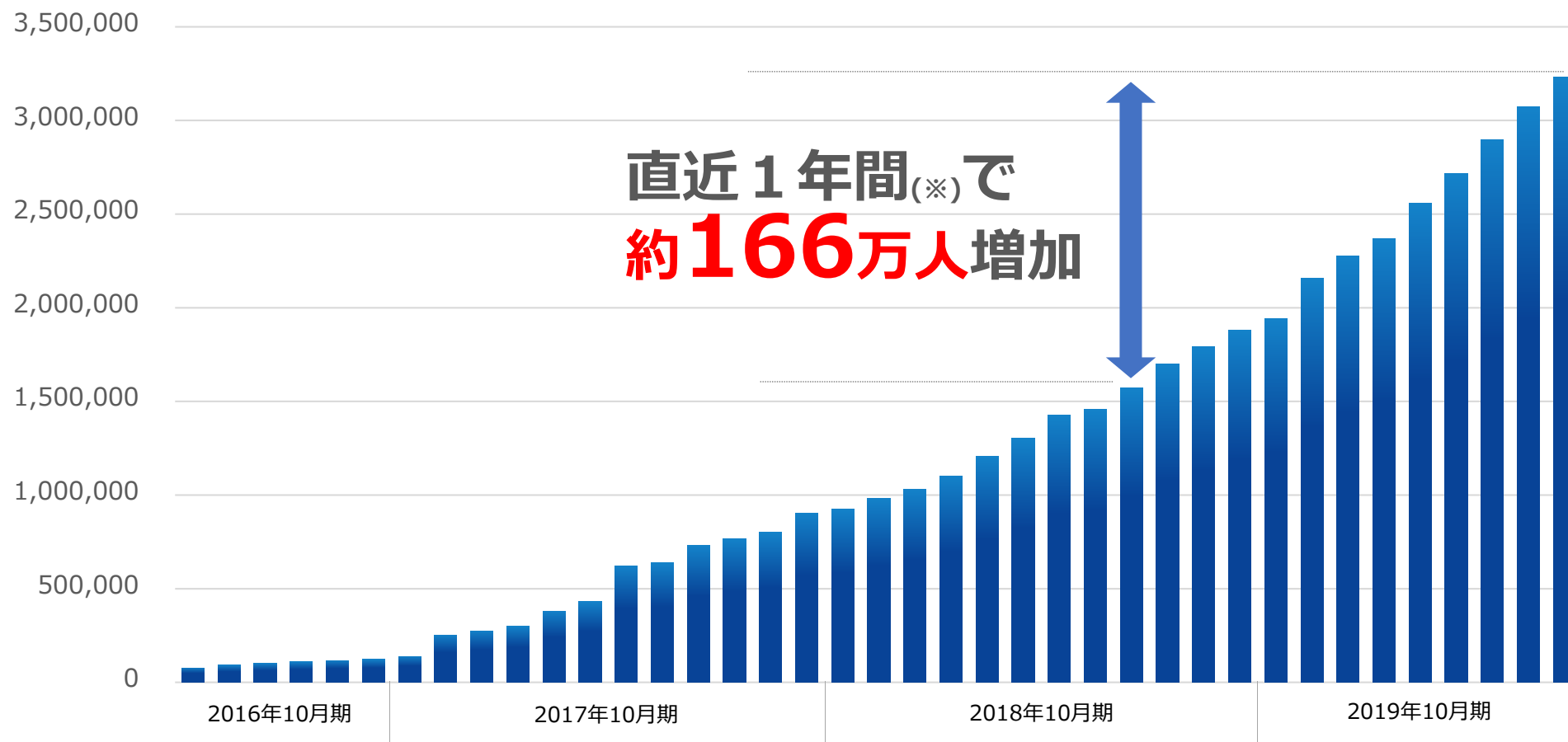
## 財務状況

※百万未満は切り捨て

(百万単位)	18/10 期末	19/10 期 第3四半期末	増減額
流動資産	348	1,089	+741
現金及び預金	226	966	+740
受取手形及び売掛金	76	89	+13
その他	45	33	-12
固定資産	120	155	+34
有形固定資産	39	34	-5
無形固定資産	60	79	+19
投資その他の資産	20	40	+20
総資産	469	1,245	+775
負債	198	284	+86
流動負債	160	256	+95
固定負債	37	28	-9
純資産	270	960	+689

## 迷惑情報フィルタ月間利用者数<sup>(※)</sup>推移

### 月間利用者数は引き続き堅調に推移し、300万人以上に。増加ペースも上昇



※月間利用者数は、当社製品・サービスを利用しているユーザーのうち、電話番号リストの自動更新またはアプリの起動等により、当月に1回以上、当社サーバへアクセスが行われたユーザー数です。なお、1ユーザーが複数の携帯端末等を所有しそれぞれで当社サービスの利用契約を行い、各端末等から当社サーバへのアクセスがなされた場合には、複数ユーザーとして重複カウントしております。また、月間利用者数は、当社が事業を通じて特殊詐欺被害の撲滅に貢献する上で重要なKPIの一つとしておりますが、主要な取引先である通信キャリアとの契約条件は様々であり、必ずしも月間利用者数の増減が直接的に収益に影響を与えるものではありません。

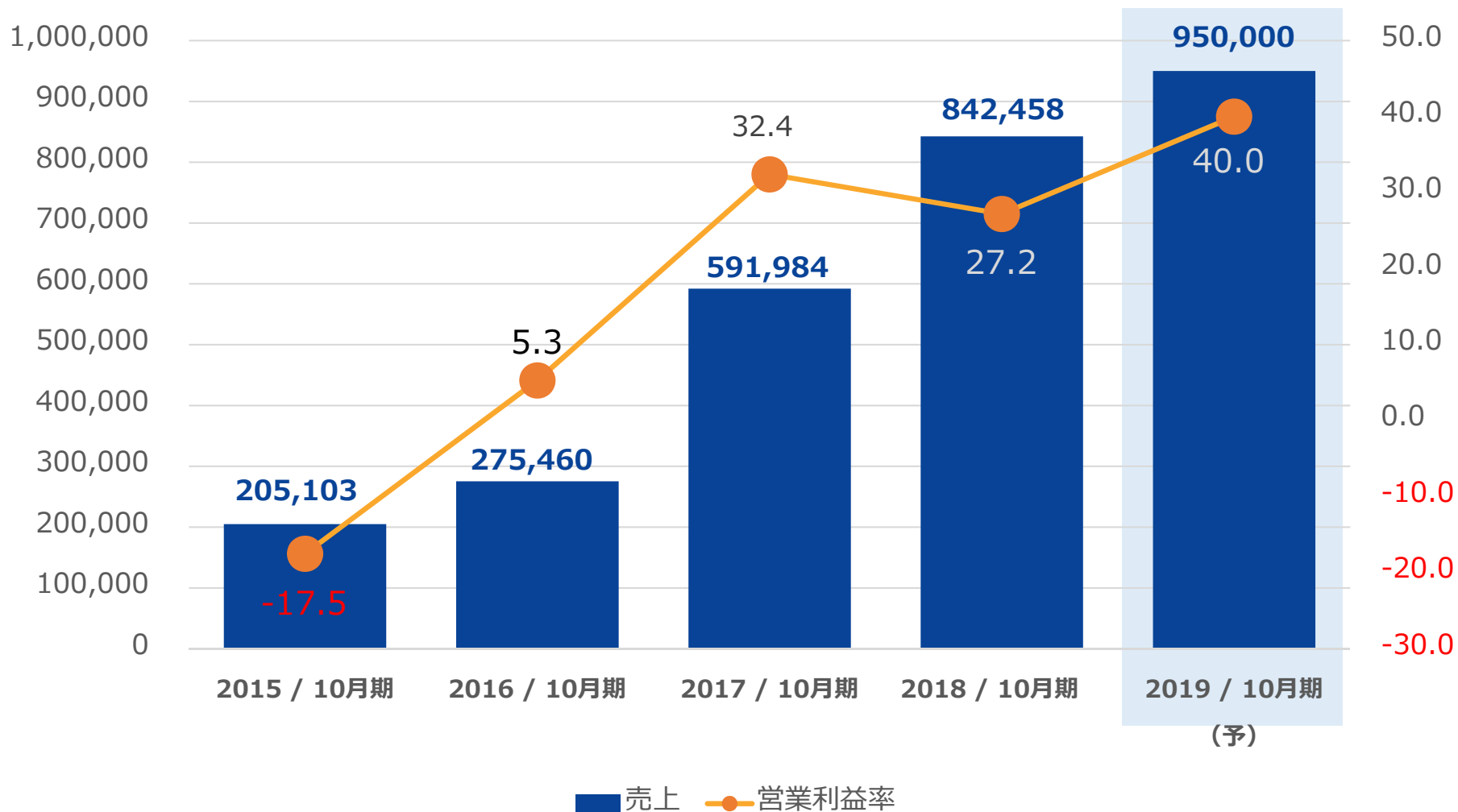
※ 2018年7月末時点～2019年7月末時点の月間利用者数の比較



# 直近4期の業績推移及び今期業績見通し

## 2019年6月の業績上方修正以後、業績見通しに修正はありません

単位（千円）



※2015年10月期及び2016年10月期については、監査法人による監査を受けておりません。

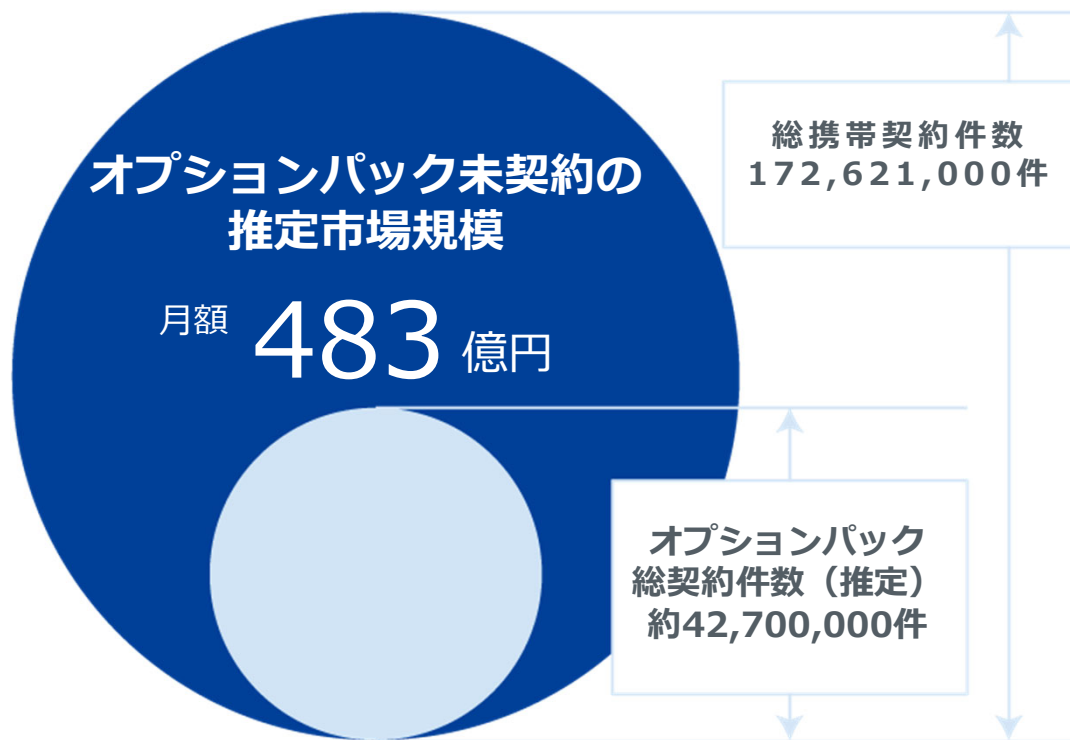


# 成長戦略

# モバイル向け市場での契約拡大ポテンシャルは充分に存在

- 携帯電話の総契約台数に占めるオプションパック加入台数の割合は24.7%程度
- 法案改正により、端末代金と通信料金の「分離プラン」により携帯キャリアの通信料低下が見込まれる中、今後は収益確保のためにオプションパック等の付加価値販売の推進がなされた場合には、オプションパック契約者数の更なる増加が見込まれる

## モバイル向け契約者数の市場規模



出所：当社調べ

\*1総携帯契約件数は、総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（平成30年度第2四半期（9月末）」データを使用

\*2オプションパック総契約者：ソフトバンク、KDDI（au）、NTTドコモの総契約者数を推定  
ソフトバンクは当社把握データ、auはKDDI開示の2018/12末時点のauスマートパス+auスマートパスプレミアムの契約者数、NTTドコモは2018/12/19開示のプレスリリース記載のオプション契約者数より当社で推定

\*3想定市場規模は、オプションパック未加入件数に「auスマートパス」の月額料金372円を乗じて算出

《一例》

ソフトバンクでは、セキュリティサービスは保証サービスと並んでオプション提案されている

### 保証サービス

もしものときに安心できるアフターサービス

#### あんしん保証パック

- 故障保証サービス
  - 破損保証サービス
  - 電池パック無料サービス
- etc...

### セキュリティサービス

迷惑電話、危険なWi-Fiや詐欺サイト、ウイルス対策

#### 基本パック



#### 迷惑電話ブロック

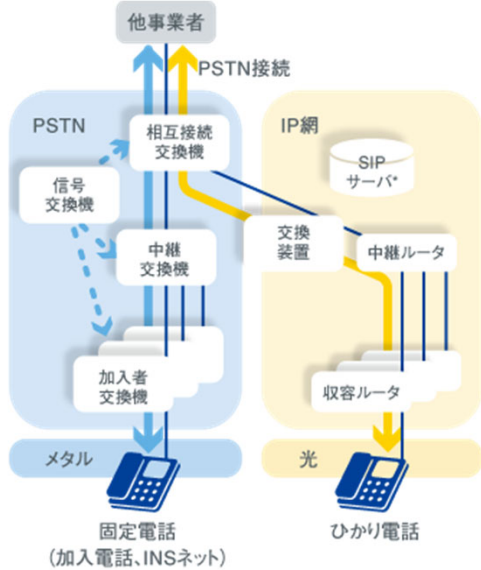
- セキュリティチェッカー
  - 詐欺ウォール
  - みまもりマップ
  - 割込通話
- etc...

# 固定電話のIP電話網への切替に伴う利用者獲得機会

- 2025年頃にNTT東日本およびNTT西日本の固定電話用信号交換機が維持限界を迎えるとされており、固定電話回線からIP電話へのより一層の移行が想定され、最大5,500万件のIP電話網が誕生
- ホームゲートウェイ（IP電話）での迷惑情報フィルタサービスの月間利用者数は21万人に留まっているが、NTT東西のオプションパックへ採用されるよう取組むことで、IP網構築の流れを的確に捉え、利用者数の更なる増加を図る

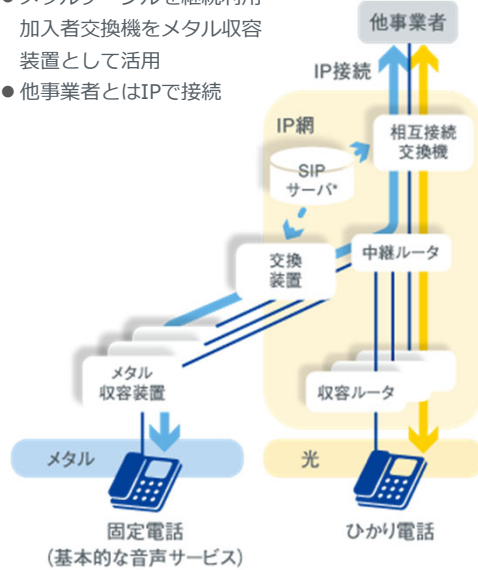
## NTT東西によるIP電話網への移行

### 現在



### IP網への移行後

- 中継/信号交換機をIP化
- メタルケーブルを継続利用  
加入者交換機をメタル収容装置として活用
- 他事業者とはIPで接続



## 固定電話⇒IP電話に切り替わった場合の市場規模



\*IP網における電話サービスの管理・制御を行うサーバ（SIP：Session Initiation Protocol）

# 法人向けフィルタ「トビラフォンBiz」の本格展開

引き続きアライアンスの推進に注力し、導入事例の増加と販売数増加に努めます



迷惑電話遮断 通話録音機能

活用シーン



ホテル・旅館



士業



クリニック

アライアンスパートナーの一例

**OKI**

OKIクロステック

**SUNTEL**

**TAKABUN**

株式会社 高文

etc

...

## 迷惑メールフィルタの水平展開

**SMSを活用した特殊詐欺被害は巧妙化。  
ソフトバンクに加え、auでも提供開始。さらに水平展開に注力します。**



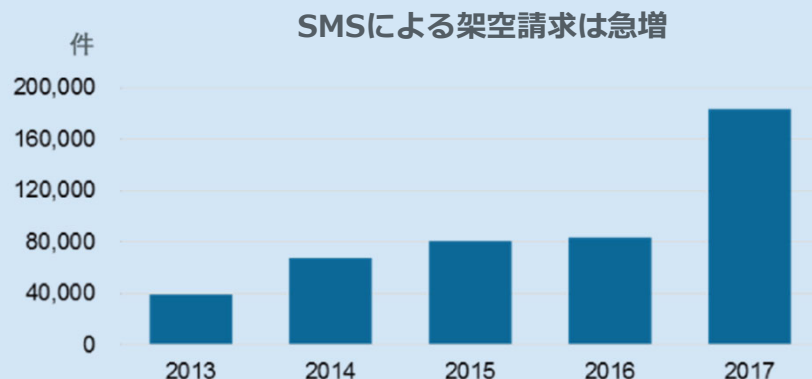
- メールやSMSに記載された「危険な電話番号情報」や「危険なサイトURL情報」を自動判別し、ブロック
- 2019年2月において月間約2,300万件のメール情報を収集・分析し、25,000件以上の迷惑メールデータベースを構築

※迷惑メールフィルタの利用者が受信したメールを独自調査  
※独自調査の方法は、①出現頻度の多いURLが記載されたメール、②迷惑メール特有の特徴を持つメールを独自のアルゴリズムで抽出し、調査

### SMSによる架空請求は急増

- ネット通販の普及  
→ 通販業者を偽装した架空請求
- 有料スマホアプリやコンテンツの普及  
→ コンテンツ事業者を偽装した架空請求

出所： 独立行政法人国民生活センター「速報！架空請求の被害が急増しています」2018年4月20日



# 広告フィルタアプリ「Netcomfy」の提供

- 迷惑電話フィルタで培ったノウハウを活用し、不要な広告や危険なサイトへ誘導する広告をフィルタするアプリ「Netcomfy」を新たに提供
- 世界での普及率に比して日本国内での普及率は小さく、市場拡大余地は十分に存在

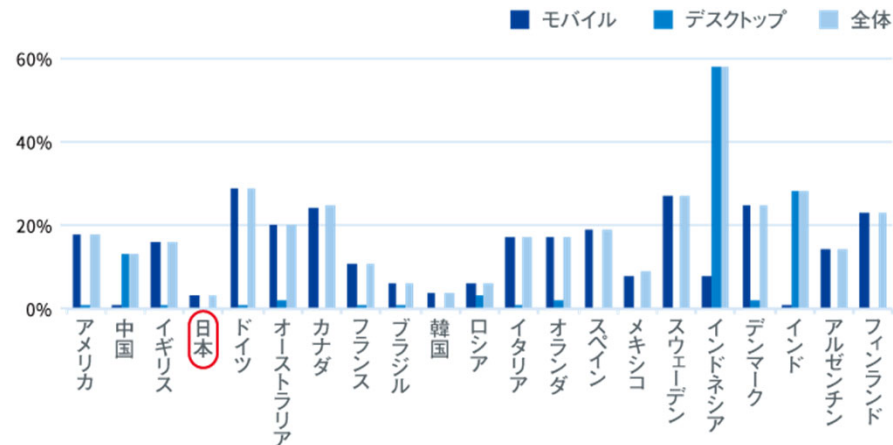
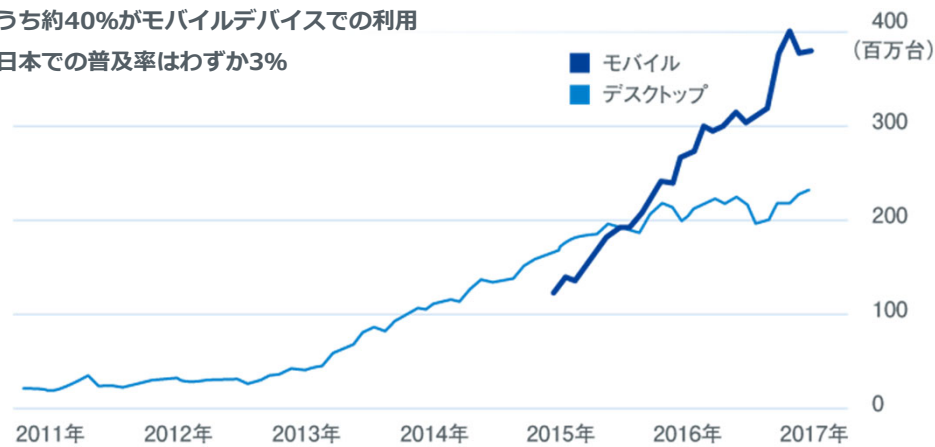
## 広告フィルタアプリ「Netcomfy」の概要

詐欺などの危険なサイトと誘導リンク（Level1）から、主要な情報以外（Level5）まで、フィルタレベルは任意で選択可能



## 広告ブロックの市場規模

- 世界では6億台以上のデバイスにて広告ブロックが利用されており、うち約40%がモバイルデバイスでの利用
- 日本での普及率はわずか3%



出所：PAGEFAIR「2017 Adblock Report」

## 今後の成長イメージ

# 既存サービスの水平展開で安定収益を拡充し、 新規サービスで更なる成長へ

### モバイル向けサービス

契約者数増加のための改善や迷惑メールフィルタ機能を通信事業者に展開

### 固定電話向けサービス

提携済み事業者を通じた新規顧客獲得と、提携事業者の新規開拓

### 法人向けフィルタサービス

迷惑情報DBを切り口に顧客開拓を進め、追加機能の充実による顧客単価向上を図る

### 新規サービス

データベーステクノロジーを活用し、迷惑広告フィルタ市場を開拓

### 新規サービス



### 法人向けフィルタ



### 固定電話向けフィルタ



### モバイル向けフィルタ







## 參考資料

## 会社概要

社名	トビラシステムズ株式会社
証券コード	4441
設立年月日	2006年12月1日（創業 2004年4月1日）
本店所在地	愛知県名古屋市中区錦二丁目5-12 パシフィックスクエア名古屋錦3F
事業内容	迷惑情報フィルタシステムの開発、提供
経営陣	明田 篤      松下智樹      後藤敏仁 結城卓也      中浜明光      松井知行
従業員数	63名    うち技術部38名（約60%）（2019年7月末現在）
拠点	名古屋、東京、大阪
主要加盟団体	フィッシング対策協議会 愛知県防犯協会連合会 静岡県防犯協会連合会 三重県防犯協会連合会 長野県防犯協会連合会 岐阜県防犯協会

# 経営陣一覧



あき た あつし  
明田 篤

代表取締役社長

1980年生まれ 38歳

2006年12月 株式会社A&A tecnologiaを設立（現トビラシステムズ株式会社）



取締役 副社長

松下 智樹



取締役 管理部長

後藤 敏仁



取締役  
常勤監査等委員

結城 卓也



社外取締役  
非常勤監査等委員

中浜 明光



社外取締役  
非常勤監査等委員

松井 知行

## 月間利用者数推移

## 2018年10月期

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
モバイル	835,494	886,793	934,167	999,160	1,098,805	1,182,454	1,284,634	1,311,474	1,410,138	1,526,503	1,612,685	1,687,872
固定	90,100	96,700	97,797	103,104	109,540	120,963	141,470	146,008	162,290	173,613	178,984	193,680
計	925,594	983,493	1,031,964	1,102,264	1,208,345	1,303,417	1,426,104	1,457,482	1,572,428	1,700,116	1,791,669	1,881,552

## 2019年10月期

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
モバイル	1,738,077	1,943,248	2,053,182	2,134,530	2,310,111	2,460,253	2,614,040	2,790,137	2,942,322	—	—	—
固定	205,820	214,761	225,484	236,163	248,895	258,038	285,075	281,136	290,715	—	—	—
計	1,943,897	2,158,009	2,278,666	2,370,693	2,559,006	2,718,291	2,899,115	3,071,273	3,233,037	—	—	—

## 2019年10月期 四半期業績推移

単位（千円）

	1Q	2Q	3Q	4Q
売上	214,831	276,122	231,816	—
（迷惑情報フィルタ事業）	193,836	223,295	210,262	—
（その他事業）	20,994	52,826	21,553	—
売上原価	49,250	75,649	60,133	—
（労務費）	44,406	45,174	47,357	—
（減価償却費）	6,413	6,880	8,825	—
（その他）	15,542	40,600	22,141	—
（開発分の他勘定振替率）※	23.7%	21.5%	23.1%	—
販管費	62,542	72,383	84,033	—
（人件費）	36,353	36,569	37,919	—
（広告宣伝費）	5,129	5,300	4,055	—
（研究開発費）	3,227	5,067	9,551	—
（その他）	17,833	25,445	32,506	—

※売上原価のうち、主に従業員の活動内容の種類から、研究開発費及び資産等に計上された割合。



## ご留意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。